

## パナマ内政・外交（2019年5月定期報告）

### 【ポイント】

○5日、大統領選挙が行われ、コルティソPRD党候補が33.35%で2位のルークスCD党候補に2.35%の差をつけ次期大統領に当選した。

○22日、コルティソ次期大統領は、フェレル次期外務大臣（元貿易産業大臣）及びアレクサンダー次期経済財務大臣（元経済財務大臣）を始めとした新閣僚7名等を発表した。

○15日、パナマを訪問したカローヌ米大統領顧問兼NSC部長は、バレーラ大統領及びコルティソ次期大統領とそれぞれ会談を行い、新政権の発足後も、引き続き緊密な二国間関係を保持することへの米国の関心を表明した。

### 【本文】

#### ●内政

##### 1 大統領選挙

(1) 5日、午前7時に開始した投票は、大きな混乱が発生することもなく平穩裡に行われ、予定通り午後4時に終了した後、開票作業が進められた。

(2) 開票は、午後4時30分より開始されたが、1位のコルティソPRD党候補と2位のルークスCD党候補が約2ポイント差で推移する大接戦となった。

(3) 午後11時40分、当国選挙裁判所アラウス判事は、開票率約95.1%までの集票結果を踏まえ、得票率1位のコルティソPRD党大統領候補に対し、電話にて当選確定を伝えた。

(4) 2位につけたルークス候補は、5日夜、特定選挙区での開票過程で選挙違反行為があったとして、全ての開票プロセスが終了するまで、選挙結果を受け入れない旨表明していた。しかし、6日午後、選挙の結果を承認し、敗北宣言を行った。開票率100%の結果は以下のとおり。

- ・投票率：73.03%
- ・有効投票数：1,965,034票
- ・白票：20,975票
- ・無効票：27,799票

1位	コルティソPRD党候補	33.35% (655,428票)
2位	ルークスCD党候補	31.00% (609,223票)
3位	ロンバナ無所属候補	18.78% (369,303票)
4位	ブランドン・パナメニスタ党候補	10.83% (212,812票)
5位	ゴメス無所属候補	4.77% (93,608票)
6位	メンデスFAD党候補	0.69% (13,582票)

7位 アメグリオ無所属候補

0.58% (11,321票)

## 2 当選宣告式の開催

(1) 10日、国家開票評議会の主催で、大統領当選宣告式が開催された。本宣告式には、選挙裁判所判事及び国家開票評議会メンバーの他、バレーラ大統領及びサイン・マロ副大統領兼外務大臣を始めとした現政権要人、各政党関係者、当地外交団等が出席した。

(2) 本宣告式では、冒頭でアラウス選挙裁判所長官が、今次選挙を通して見られたパナマの民主主義の成熟度に祝意を表明すると共に、次期政権の優先すべき一つの課題として、利益誘導や賄賂を防ぐための選挙改革の重要性を訴えた。

(3) その後、コルティソ次期大統領が壇上に上がりスピーチを行い、自分は人生最大の挑戦に取り組む用意ができている、ただ、この挑戦は自分一人で成し得ることができない、全てのパナマ国民の支援が必要である、今般当選証書を受け取り、感激と感謝の気持ちで一杯である、自分は大統領選挙において、当選した暁にはパナマの働き者になると約束したが、改めて休むことなく、全身全霊でパナマのために働くことを約束する旨述べた。

## 3 バレーラ大統領とコルティソ次期大統領による第一回会合

(1) 13日、バレーラ大統領とコルティソ次期大統領は、首相官邸にて、政権引継ぎのために会談し、コロン・フリーゾーン、アマドールのコンベンションセンター、観光促進基金、社会保険庁及び国家財政等テーマについて取り上げた。

(2) バレーラ大統領は、今次会合は有益且つ建設的なものであり、今後事務引継を予定している治安及び経済分野について協議するなど、重要な工程のアジェンダを確定することが出来た旨述べた。

(3) また、バレーラ大統領は、7月1日に無事に新政権が発足し、パナマ国民に有益な政権移行プロセスが行われるよう、次期大統領及び副大統領を全面的に支援する旨表明した。コルティソ次期大統領は、政権移行プロセスが本日開始したことを一パナマ国民として誇りに思うと共に、このプロセスがパナマに安堵をもたらすだろうという旨述べた。

## 4 新旧外務大臣の事務引継に係る会合

(1) 5月31日、サイン・マロ副大統領兼外務大臣及びフェレル次期外務大臣が出席する、外務省事務の引継に係る会合が行われた。現政権及び次期政権それぞれの出席者は以下のとおり。

・現政権側：サイン・マロ副大統領兼外務大臣，ゴンサレス大統領府大臣，インカピエ外務次官，ナバロ外務次官及び各局長

・次期政権側：フェレル次期外務大臣，カリソ次期副大統領兼大統領府大臣，フェデリコ・アルファロ弁護士（次期外務次官），フアン・アントニオ・ドウクレ元上下水道庁長官（次期大統領府次官）

（２）本会合で，サイン・マロ副大統領兼外務大臣及びフェレル次期外務大臣は，バレーラ政権での成果及びパナマ外交の今後の課題について情報共有した。具体的には，伝統的に外交関係を有するラ米諸国，米国及び欧州諸国に加えファルコン・ポリシーを通して現政権下で拡大した二国間関係，国際金融サービス及びプラットフォームの近代化，持続可能な開発目標への取組と，国際場裡におけるパナマの立ち位置等について取り上げた。

（３）フェレル次期外務大臣は，新政権では，貿易産業省の投資誘致及び輸出促進機能を外務省に移行することを明らかにし，国外投資家のパナマへの信頼回復のため尽力する旨述べた。

## 5 新閣僚人事の発表

22日，コルティソ次期大統領は，記者会見にて新閣僚7名等を発表したところ，概要以下のとおり。

1. 大統領府大臣：ホセ・ガブリエル・カリソ・ハエン（弁護士，次期副大統領）
2. 外務大臣：アレハンドロ・フェレル（元貿易産業大臣，元外務次官，元寿府政府代表部大使）
3. 経済財務大臣：エクトル・アレクサンダー（元経済財務大臣）
4. 貿易産業大臣：ラモン・マルティネス（弁護士）
5. 労働開発大臣：ドリス・サパタ・アセベド（弁護士，元社会開発次官）
6. 公共事業大臣：ラファエル・ホセ・サボン・ビラール（土木技師）
7. 治安大臣：ロランド・ア・ミロネス・ラミレス（元国庫財政次官，元国家警察長官）
8. 人材開発庁長官：ベルナルド・メネセス・ゴンサレス（PRD党青年部会代表）
9. 民間投資促進機関長官：ホセ・アレハンドロ・ロハス（工業技師）

## 6 臨時国会の召集

（１）22日，バレーラ大統領は，5月27日（月）～6月30日（日）の期間で臨時国会を召集すると共に，右会期内に取り上げられるべき一連の議題を明らかにした。

(2) 主な議題として、通常国会において承認まで至らなかった年金受給者への臨時ボーナス制度の導入や民間防衛専門コースの導入等に係る諸法案の他、最高裁判事及び選挙裁判所判事を始めとした一連の人事案が挙げられた。なお、コルティソ次期大統領が提案していた憲法改正については、審議が見送られた。

(3) また、運河庁理事会の理事について、閣議は、当初サイン・マロ副大統領兼外務大臣及びゴンサレス駐米大使を指名していたが、今月20日にサイン・マロ副大統領兼外務大臣、22日にゴンサレス駐米大使が相次いで辞意を表明したため、ロイ運河担当大臣兼メトロ公社総裁とハエン前公共事業次官を新たに指名した人事案を国会に提出した。

## ●外交

### 1 カローヌ米大統領顧問兼NSC部長のパナマ訪問

(1) 15日、パナマを訪問したカローヌ米大統領顧問兼NSC部長（西半球担当）は、バレーラ大統領と会談し、ベネズエラの民主的移行及びマドゥーロ大統領の平和的退陣につき協議した。本会談には、サイン・マロ副大統領兼外務大臣及びカブラル米臨時代理大使が同席した。

(2) カローヌ米大統領顧問兼NSC部長は、コルティソ次期大統領及び同政権移行作業部会メンバーと会談し、経済、政治及び安全保障分野における二国間関係の優先事項について協議した。カローヌ米大統領顧問兼NSC部長は、新政権の発足後も、引き続き緊密な二国間関係を保持することへの米国の関心を表明した。

(3) その後、カローヌ米大統領顧問兼NSC部長は、サバルセ・グアイド暫定大統領任命外交代表を始めとした当国外交団とベネズエラ情勢への今後の対応につき協議した他、パナマ運河庁への米国の支持及び米国経済にとってのパナマ運河の重要性を表明することを目的に、キハーノ運河庁長官と会談した。

(4) なお、その後TV番組Debate Abiertoに出演したカローヌ米大統領顧問兼NSC部長は、米国は、中国の接近の裏に単なる商業的意図だけでなく、地理戦略的且つ政治的な関心があると見ており、かかる接近は、米国だけでなく米州域内諸国において、ベネズエラで現在起きているような安全保障上の問題を引き起こしかねない旨述べた。

### 2 サイン・マロ副大統領兼外務大臣のスイス訪問

(1) 27日、サイン・マロ副大統領兼外務大臣は、ベルリンで開催される「ラテンアメリカ・カリブ会合」に出席する一環で、スイスを訪問し、ヴァルストローム外務大臣と外相会談を行った。両外相は、パナマが、その空路、海路及び金融のハブとしての競争力の高さから、スイス企業及び投資家に提供する機

会につき検討した。

(2) 「サ」副大統領兼外務大臣は、財政の透明化に向けたパナマ政府による取組及び前進につき強調すると共に、スイス政府の支持に感謝した。ヴァルストローム外務大臣は、2030アジェンダに向け、特にパリ協定に則った気候変動への取組等、パナマと協働していくことに関心を表明した。

(3) 両国外相は、今次行われた欧州議会選挙及びパナマの総選挙につき、民主主義の強化が反映されたそれぞれの選挙結果に祝意を表明し、会談を締めくくった。また、両国外相は、特に教育及び技術分野での二国間関係の促進に関心を表明した。

### 3 秦剛中国外交部副部長のパナマ訪問

(1) 31日、バレーラ大統領は、パナマを訪問した秦剛(Qin Gang)中国外交部副部長と会談を行い、来る6月13日までの2年間で達成してきた二国間関係の進展につき祝意を表明した。

(2) 秦剛外交副部長は、バレーラ大統領との会談に先立ち、コルティソ次期大統領と会談した。コルティソ次期大統領は、フェレル次期外務大臣と共に、秦剛中国外交部副部長及び代表団と会談し、二国間関係の強化につき協議した旨明らかにした。また、コルティソ次期大統領は、次期政権の外交政策は、国益を守り、経済・社会発展の道具となるという明確な使命を有しており、次期政権下ではパナマが伝統的に国際場裡において果たしてきた役割及びそれによる名声を回復する旨述べた。

(了)